



茨城経協



政策委員会開かれる



経協塾「AI・IOT」について学ぶ



合同視察会・松下政経塾を訪問

## CONTENTS

### 01 年頭挨拶

会 長 鬼澤 邦夫  
茨城県知事 大井川和彦  
経団連会長 榊原 定征  
副 会 長 高橋日出男/小濱 裕正/加子 茂/  
幡谷 史朗/関 正樹/太田 晃三  
専 務 理 事 澤畑 慎志

### 08 委員会報告

政策/環境研究会/経営教育

### 10 支部だより

水戸/古河・坂東/土浦・石岡・つくば/鹿行

### 13 いばらきの理解を深める9支部めぐり@<葛田一雄>

「県西地区支部」

### 15 NPO情報Vol.207<横田能洋>

「2017年を振り返る」

### 16 寄稿「外国人観光客を誘客して茨城を元気に」

日本貿易振興機構(ジェトロ)茨城貿易情報センター 所長 西川壮太郎

### 17 新入会員紹介

### 18 セミナー・事業等のご案内

## 会員、地域社会の声に耳を傾け “頼りにされる”茨城経協へ

会長 鬼澤 邦夫



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、近隣諸国の動向にたびたび翻弄されたものの、世界的に堅調な景気動向の流れに乗り、日本全体そして本県の経済活動はおおむね好調を維持した年となりました。

一方で、2019年の茨城国体、全国障害者スポーツ大会、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、多くの業種で人手不足、人材難の問題が顕在化し、好調な経済活動の足かせとなりつつあることが懸念されました。

そのような中で、本県では昨年8月に県知事選挙が行われ、大井川知事が誕生されました。

大井川知事が掲げられております「新しい茨城」づくりに大いに期待するところであり、当協会と致しましてもその実現に協力して参りたいと思うところです。

昨年7月に創立70周年を迎えた当協会は、これまで創立記念式典の開催、「経協塾」の開

講、「企業が選ぶいばらきの見学スポット22」の選定とパンフレットの広報に努めて参りました。

本年は、茨城大学と協力し、茨城のことをより多くの方に、より深く知って頂く講座「いばらき塾」の開設、企業の優れた朝礼に学ぶ「朝礼見学会」を開催致します。これらの周年記念事業を含め、会員企業の皆様はもとより、地域の皆様にとっても有益な活動を提供して参ります。

また、本年度よりスタートしております「第8次中期運営要綱」(2017年度～2019年度)では、「会員の声に耳を傾け、会員・地域から“頼りにされる”茨城経協へと進化する」を基本方針に掲げ、その実現のため企画、運営を行っております。

中でも特に、「会員の声に耳を傾ける」取り組みに注力し、多くの会員の皆様のところにご訪問し、直接経営者の皆様にお会いさせて頂くことで、協会に対する期待、要望等ととても多くのご意見を頂戴致しました。今後の協会運営にできる限り反映して参ります。

さらに、会員の皆様にご協力頂き展開しております会員増強運動につきましては、本年度新たに96社の企業様にご加入頂き、1,188社となり、昨年に引き続き、当協会創立以来最も多い会員数を更新致しました。誠にありがとうございました。

これからも会員相互の新たな出会い、新たな気づき、学びがこれまで以上に大きくなるよう、全ての活動の質を高めて参る所存です。

地域を代表する多くの企業、経営者が集う経済団体として、会員の皆様、地域の方々の大きな期待に応えられる協会になるため、全力を尽くすこととお約束し、年頭のご挨拶といたします。

皆様方の一層のご健勝、ご発展をお祈りいたします。

(株)常陽銀行 取締役会長)

# 「活力があり、県民が日本一幸せな県」 づくりに向けて

茨城県知事 大井川和彦



新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人茨城県経営者協会の皆様にはすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃から労使関係の健全化や企業経営の安定化などを通じて、本県の産業経済の発展にご貢献いただいておりますことに、心より感謝申し上げますとともに、深く敬意を表する次第です。

知事に就任してから3ヵ月余り、この間、現場に足を運び、さまざまな課題について改めて認識を深めますとともに、私自ら多くの職員と議論を進め、新しい茨城づくりの方向性を取りまとめました。

一年の始まりに当たり、未来に向けて大きな一歩を踏み出し、新しい県づくりに邁進していく決意を新たにしています。

現在、社会のあらゆる分野で深刻になる人手不足、地域間の競争激化や格差の拡大など、厳しい時代を迎えようとしています。

既存産業と新産業との共存共栄による産業集積づくり、ICT

の活用による中小企業の経営改革・技術力向上・販路拡大の支援などを進め、力強い産業を創出しますとともに、成長分野の企業や本社機能の誘致、産業を支える人材の育成や若者の安定した雇用環境づくりなどを進め、質の高い雇用を創出していきたいと考えております。

また、新しい発想による医師確保や医療機関の連携強化などにより、県民の命を守る地域医療・福祉の充実を図りますとともに、ICTを活用した災害情報の共有化などを進め、安心・安全な生活基盤を築いてまいります。

さらに、将来の予測が難しく、混沌とした時代を迎える中、確かなものはこれからの茨城を創る「人財」です。

小・中・高等学校において、インターネットを活用した英会話・プログラミング教育の導入や理数教育の充実を図りますとともに、子どもたちが得意なものを見つけ、さらに伸ばし、グローバル社会で活躍できる教育環境、子どもを産み育てやすい県づくりなどを進めてまいります。

こうした取組みに加え、将来にわたって、夢や希望を描ける茨城とするため、今から布石を打っていくことが私の使命であります。

世界湖沼会議、茨城国体・全国障害者スポーツ大会や東京オリンピック・パラリンピックを成功させ、大会終了後も含め、地域の活性化に繋がりますとともに、あらゆる産業における海外展開やベンチャー企業支援、魅力度向上などに力を注いでまいります。

これからの茨城を切り拓いていくためには、皆様方とともに、これまでの常識にとらわれず、新しい発想で果敢に挑戦していかなければなりません。

人口減少や少子高齢化、刻一刻と進む時代の変化に真正面から向き合い、茨城のあるべき姿を見据えて、一步でも前に進んでいける一年にしていきたいと考えておりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本年が、実り多き素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶いたします。

## GDP600兆円経済に 向けて邁進する年に

一般社団法人 日本経済団体連合会  
会長 榊原 定征



2014年の会長就任以来、経団連ビジョンに掲げた「『豊かで活力ある日本』の再生」の実現に向けて、政府との緊密な連携のもと、鋭意取り組んできた。今や雇用環境は大幅に改善し、緩やかながらも極めて長期にわたる戦後最長の景気拡大が実現している。そうしたなかで迎えた2018年、今年こそ経済再生の足取りを力強いものとし、GDP600兆円経済に向けて邁進する年にしていきたい。経団連としては、主に3つの課題に焦点を当てて主体的に取り組む所存である。

第1の課題は成長戦略の推進であり、その中核となるのが、経済界が提唱した「官民戦略プロジェクト10」の推進である。そのなかでも特に、Society 5.0が重要である。Society 5.0は、IoT (Internet of Things)、ビッグデータ、AI、ロボットなどの革新技术の活用により、人々の暮らしや社会全体を最適化した未来社会を意味する。経済成長と社会的課題の解決が両立するこの未来社会の姿は、国連が掲げるSDGs (持続可能な開発目標) の理念とも軌を一にするものである。経団連は2017年秋、Society 5.0の実現を通じたSDGsの達成を柱に、「企業行動憲章」を改定した。日本が世界のフロント・ランナーになれるよう積極的に取り組んでいく。

第2の課題は構造改革の推進である。規制改革、税制改革など、企業活動をさらに促進する制度改革に取り組んでいく。また、国民の将来不安を払拭するため、社会保障制度の持続可能性確保や財政健全化の必要性を強く訴えていく。

第3の課題は経済外交の推進である。米国、欧州、中国をはじめとする主要経済パートナーの政治・経済リーダーとの政策対話等を通じて、自由で開かれた国際経済秩序の維持・強化に貢献していく。まずは日EU EPAおよびTPP11の可能な限り早期の実現を働きかけるとともに、アジア太平洋地域における貿易投資にかかる高い水準のルールづくりに向けて米国の関与を求めていく。世界経済のけん引役であるアジア諸国とも、緊密で互恵的な関係を強化していく。

さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功ならびに大阪・関西における2025年万国博覧会の誘致実現に向けて、全力で取り組んでいく。

皆様のより一層のご支援、ご協力をお願い申しあげる。

## 年頭所感

副会長 高橋日出男



新年あけましておめでとうございます。

昨年、本格的な建機の回復は「4～5月頃の需要状況を見て判断する必要がある」と報告したが、予想を超えた回復に生産が追い付かず、大変忙しい一年だった。有効求人倍率は1.5倍に迫り、製造部門の人手不足は酷く、昨年だけでも90人増員したが、そのほとんどが外国人労働者だった。今年も10%程度の生産増が予想される。今後の生産年齢人口の減少を補うには、技能実習制度を超えた労働力の国際化は急務である。

次に昨年の新年号の続きを述べさせていただきます。91年に上海市で営業許可を取り、ココム規制をクリアし、茨城工場に働いていた中国人2名と現地採用の会計士の3名で市内の賃貸工場を借りて上海協立の生産が始まった。生産の全量を日本に輸出し、生み出した利益を設備投資に回し、紆余曲折はあったが、95年頃に50人を超え、上海市新橋区にある特別開発区の工業団地に移転した。その後業績を伸ばしていったが、98年金融危機の時、日本からの注文が激減したため、中国国内の外資系企業から注文を取るよう経営方針を変更した。順調に受注を伸ばしていった2004年、従業員は60名を超えたが、中国政府の金融・インフラ開発の経済政策の変更で、経済は急減速したため、厳しい経営を余儀なくされた。

2008年、農民工と云われる製造現場の労働者は雇用契約の更新延長で従事していたが、労働契約法が終身雇用制に改正されたため、労働問題に巻き込まれるのを回避するため、外注工場の開拓を進め、改正の猶予期間中に人員を半分以下にした。中国の景気は2011年をピークに2015年には底を打ち回復してきた。中国市場の回復は(株)協立製作所に多大な影響を及ぼしている。今年徹底したムダの排除を行い、スマートな工場を再構築していきたい。

(株)協立製作所 代表取締役社長

# “DISCOVER HUMANITY & LOCALITY”

## 「人間愛」の回復と 「茨城愛」の再発見を！

副会長

小濱 裕正



人口減少や経済停滞に苦しむ地方の活性化を目ざす第二次安倍内閣の骨太政策の一つである地方創生推進が竜頭蛇尾になりつつあることを憂慮している。更には、末梢神経や毛細血管であるべき各市町村においてコミュニティまでも崩壊しつつあり、人びとの出会い、交流の場が消滅しつつあること、農業県である茨城県内の中小零細農家や中小加工製造業者の衰退、行政の財政難からのサービス水準の低下、保全速度を上回る環境破壊など、人間性や地域性が加速度的に喪失されつつある。もはやアベノトリックに委ねることはできない。

また「ものづくり」大国の中核を自負してきた重厚長大企業の数々の経営管理や品質管理の劣化は目を覆うばかりとなり、日本経済を支えてきた経団連の時代は終焉に向かっている。この状態はとりもなおさず経営者の質の劣化、なかんずく各企業の哲学・理念・使命・存在意義など経営の根幹を成す最も重要な絶対価値を現場の隅々まで徹底せずして効率・シェア・株価などの相対価値に傾斜しすぎ

ることにある。本経協の会員企業も他山の石としなければならない課題でもある。この状況が続くならば、数年後には安倍政権と経団連の蜜月旅行も主役交代の時代を迎えることになる。

70%近いGDPを産出している小売流通などのサービス産業を中心とする第三次産業と消費財製造産業が真に消費者主権の時代を迎える助走が始まったといえます。これらの主役の入れ替わりは偏に行政問題ではなく、民間企業が地域社会の発展や生活環境などの絶対価値に対する活動が疎かになっているからである。斯くいう弊社も昨年末県内100号店出店(北関東圏内186店)させていただいたリーディングカンパニーとして聊か反省すべき点がある。食品スーパーはもはや食料品を販売する社会的機能だけの時代ではないと痛感している。少子高齢化社会の交流拠点として健康増進や料理体験など参加体験型のイベントを提供するためのスペースの確保活用をすべく店舗機能を見直す時代である。また将来のこの国を支える健全な県民を育成すべく保育児・幼稚園

児・小学生を対象とする食育活動を年間15,000人に拡大できるよう食育インストラクター増員をはかるとともに本年3月にまる8年を迎える東日本大震災で壊滅的被害と犠牲を蒙った岩手県陸前高田市の子供たちの成長支援を今年も引き続き実行する。一方『はたらくママさん』たちが安心して働けるよう保育活動にも参入する予定である。また地域活性化として地域地元産物の開発発掘など100億円を目標に拡販する体制を作り上げ、環境問題では12年ぶりに本年県内で開催される世界湖沼会議を機に新たに霞ヶ浦の水質浄化活動など「人が住みよい」地域社会活動を強化推進する所存である。

新年に当たり、それぞれの会社が『身の丈』の活動であっても『茨城愛』の御旗の下に「人間性の回復と地域性の再発見」を始めようではありませんか。

祈共栄

(株)カスミ 取締役会長)

## 茨城の魅力発信

副会長 加子 茂



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと思います。年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。さて、昨年を振り返ってみますと、なにかと茨城が話題にのぼることが多かった1年でした。

スポーツ界では、元旦早々鹿島アントラーズが天皇杯で優勝しました。1月末には牛久市出身稀勢の里が横綱に昇進、弟弟子の土浦市出身高安も5月末に大関に昇進しました。又、9月には笠間市出身女子プロゴルファー畑岡奈紗が、プロとして初のトーナメント優勝というニュースもありました。文化界の方でも、2月には水戸一高卒業生で、水戸一高の伝統行事「歩く会」をモチーフにした小説「夜のピクニック」で本屋大賞を受賞していた作家恩田陸が直木賞を受賞。4月からは女優有村架純演じる、奥茨城村(架空)出身の主人公谷田部みね子が活躍するNHK朝の連続テレビ小説「ひよっこ」が、半年間にわた

り放映され高視聴率を得ました。

茨城のイメージアップということでは、当協会も一役買いました。6月に実施した創立70周年記念事業の一つとして、会員投票により「企業人が選ぶいばらぎの見学スポット(産業編)22」を選定しパンフレットとして発行、多くの方々の好評を博することとなりました。

このように、なにかと話題の多かった茨城でしたが、例年10月に実施される恒例の「地域ブランド調査都道府県ランキング」の結果は、5年連続ワーストの47位とランクアップにはつながりませんでした。特に、今年は例年3県経営者協会交流会で、「だんご3兄弟」と言って傷を舐め合ってきた群馬県、栃木県がそれぞれ41位、43位と順位を上げたため万年最下位の茨城県が存在がより際立つこととなりました。

私としては、本調査が問うている本質は人々の想起率であり、客観的に見れば茨城は各種指標の殆どが平均以上で住み易い所ではあるが、いい面でも悪

い面でも際立って突出したものがないため、なかなか人々に想起されないということではないかと分析しています。確かに、私が上に掲げた話題も、茨城に住んでいる我々が思うほどには他府県の方々は茨城を想起しなかったということなのかもしれません。と色々理屈付けはしてみても、やはり魅力度5年連続最下位であることも事実であり、我々経営者も本年こそは最下位脱出を図るべく、本協会の活動や自社の事業を通じ、更なる茨城の魅力発信に努めて行くではありませんか。

最後になりましたが、当協会と致しましては本年も昨年同様会員各位に資する活動を進めて参りたいと思っています。会員各位におかれましては、引き続きのご協力をお願い申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

(株)日立ライフ 取締役社長)

## 人と人が 触れ合う事で 生まれる化学変化

副会長 幡谷 史朗



新春のお慶びを申し上げます。

昨年度、経営者協会にご入会頂けるご意向をお持ちの企業経営者の方を、訪問する機会がございました。活動内容を一通りご案内申し上げました後、先方の経営者の方から次の様なお話しを頂きました。

「実は、私、小さい頃に幡谷さんの実家にお邪魔した事があります」と。

とてもビックリして、よくよく、お話しをお聴きしますと、母上君とご一緒にお見えになられたとの事。その当時、私の母が親しく付き合いをさせて頂いた方の息子さんでした。その事をお聴きした瞬間、私も小学生の頃の記憶が甦って参りました。逆に、私もその方の母上君のお仕事場にお邪魔した事がありました。南角に面したお家で、明るい陽射しのもと、大勢の専門家の方々がその技術に自信と誇りを持ち、プロフェッショナルなお仕事に従事されておりました。その凛とした空気の中に、南向きの窓から差し込む暖かい陽射しがとても印象的で、とても居心地の良い場所でした。

その様な母上君の背中をずっと見てこられた方だからでしょう。会社創立の経緯をお聞きしますと、ご自身はもとより、大勢の仲間の為に一念発起し、ご努力されて来た生き様を感じ取る事が出来、妥協を許さない技術者としての高い志が満ち溢れていらっしゃいました。今から45年も前のお話しです。しかし、今こうやって初対面であっても、お互いの人生の歴史の中に共通項を見つける事が出来る。まさに、一期一会、人と人との出会いから生まれる人間関係の化学変化です。現代は、IT社会の真ただ中です。しかし、目と目を見つめて初めて理解できる事が沢山あります。

今年も、会員の皆様との交流を大事にし、人と人が触れ合う事で生まれる化学変化を大事にして参ります。

これからも茨城県経営者協会の交流の輪を広げて行きましょう。

(茨城トヨタ自動車(株) 代表取締役社長)

## 次世代に向けて 地域と共に 成長する

副会長 関 正樹



新年あけましておめでとうございます。

弊社は2016年7月にハノイ駐在員事務所を設置し、現地での情報収集や事業展開の可能性を探り、常陽銀行様をはじめ茨城県、ジェトロ茨城など多大なるご支援の下、昨年8月に現地法人「SEKISHO VIETNAM COMPANY LIMITED」を設立することができました。まずはハノイ工科大学において過去3回開催している就職面接会「SEKISHO JOB FAIR」の企画・開催など、日本企業への就職を希望する現地学生向けの人材紹介事業に加え、オフショア開発やベトナム国内企業向けのシステム開発を行う事業を柱として、今後も事業を展開して参ります。

昨年11月に筑波大学体育系学部の協力で全社員運動会を開催し、800名が参加しました。始めはお互い遠慮がちでしたが、競技が進むとともに各チームが勝利を目指して団結していきました。仕事においても一人ではなく、同じ方向性や考えをもつ人たちと地域や組織を超えて取り組むことが、より良い結果につながるという意識を持つことを期待しています。

加えて、社員一人ひとりがお互いの価値観や考えの違いを認識することにより、多角的な視点から地域や社会を見つめる力を身に付け、一人ひとりが自ら学び成長してもらいたいと考えております。

今年も電気自動車やAIを活用した自動運転の開発が進む中で、弊社の基盤であるエネルギー業界では化石燃料の販売への影響が心配され、自動車業界においてはこれまでの自動車開発メーカー内製化体制からIT企業を始め異業種との連携など、業界の構造変化がさらに進んでいくものと予測されます。

前述のような弊社に関わる事業に限らず様々な環境変化に対して、業種を超えて経営者協会が持つネットワークを活かした連携が重要であると感じております。

軸足は茨城を中心に据えつつ、海外を含めて外へ出ることで様々な情報を入手し、これから先の次世代へ向けて共に成長していける様に取り組んで参ります。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

(関彰商事(株) 代表取締役社長)

## きめ細かく丁寧な ものづくりを 見つめ直す

副会長 太田 晃三



明けましておめでとうございます。  
昨年を改めて振り返りますと、緊迫化する隣国事情、衆議院議員総選挙など、たくさんの出来事が世間を騒がせました。中でも、自動車産業・素材産業と日本の基盤産業である製造業の相次ぐ「不祥事」がここにきて広がり、「安全・信頼・高品質」で差別化してきた日本品質の本質が問われる事態となりました。日本の強みは「きめ細かく丁寧なものづくり」ですが、何が本当に重要かを取り違えてしまっては元も子もありません。今一度原点に戻って時間をかけて丁寧に社会貢献を重ねることが信頼回復への唯一の方法ではないでしょうか。

日本の「きめ細かく丁寧なものづくり」は、高い技術力と現場の技能に支えられてきました。しかし、深刻化する労働力不足、職場の世代交代で日本のものづくりは転換期を迎えています。

労働力不足に関しては、例えば3K作業と呼ばれる過酷な環境の中で行われる重筋作業等における機械化、IoT、ビッグデータ、AIによる自動化技術の活用をより具体的にかつ早急に進めていくことが必要です。また、これによりものづくりは進化していくでしょう。

世代交代に関しては若い世代に日本のものづくりの価値観を伝えていくことが非常に重要です。これまで、モラルの高い勤勉な現場の人々が、自分たちの技能を誇りに持ち、多くのきめ細かな改善を地道に積み重ねて、日本のものづくりの価値観を作り上げてきました。現場も大きく若返っている中で、対話を丁寧に言い、何が本当に大事なのかを明確にし、改善することが自分の成長につながるということを理解してもらおうという働きかけを繰り返し繰り返し実行していきたいと思えます。

日本の「きめ細かく丁寧なものづくり」の良さの原点を改めて考えるとともに、新たなツールや技術により、進化させていくことを考え抜く1年にしたいと考えています。

(新日鐵住金(株)鹿島製鐵所 副所長)

## 新たな一歩を

専務理事 澤畑 慎志



新年おめでとうございます。

昨年のドラフト会議の目玉は、東の清宮(早稲田実業)、西の安田(履正社)と言われ注目を集めました。彼らの今年の活躍が楽しみです。いろいろな場面で、よく東の〇〇、西の××なる表現がなされます。

昨年、日本中の注目を集めた世界遺産・沖ノ島。実は西の沖ノ島の対になる東の史蹟が茨城にあるそうです。茨城大学・茂木雅博名誉教授が著した「常陸国風土記の世界」には、霞ヶ浦に浮かぶ「浮島」(現在は埋立てにより島ではない・稲敷市・水郷筑波国定公園に指定)が、その島という。風土記には、大足日子の天皇(景行天皇)の仮宮を設け、九の社あり、言も行も謹諱(つつし)めり等と記され、当時、並々ならぬ地であったことが窺われます。

茂木氏は40年ほど前に浮島を発掘調査した浮島研究の第一人者。大量の祭祀遺物が出土したという。沖ノ島が中国やシルクロードの交通の要衝、浮島は陸奥、蝦夷への交通の要衝ということで、供え物に雲泥の差が生じたようです。

やがて鹿島、香取の神社が繁栄し「祭祀場としての浮島」は廃れていった。鹿島は「鹿島立ち」の言葉が残るとおり、北方の蝦夷討伐のための守り神・戦いの神として人々から崇拝されることとなったようです。

今年は、創立70周年事業として茨城大学の協力を得ながら、茨城をもっと知るために「いばらき塾」をスタートします。新たな茨城の発見もあるかと思えます。

「会員の声に耳を傾け会員・地域から頼りにされる茨城経協へと進化する」と掲げてスタートした協会の3ヵ年計画・第8次中期運営要綱も中間年を迎えます。

引き続き、事務局役職員一同、会員と地域のために精一杯努力して参る所存です。会員、関係機関の皆様には、本年も宜しくご指導ご協力をお願い申し上げます。



#### 政策委員会

主要事業、創立70周年記念事業の進捗について意見交換

12月19日(火)、つくば市・常陽つくばビル役員会議室において第3回政策委員会が開催された。

鬼澤邦夫会長(㈱常陽銀行取締役会長)の挨拶の後、加子茂副会長(㈱日立ライフ取締役社長)が議長となり議事を進めた。

会議では、沢畑専務理事より会務報告があった。次に会員増強活動について、関係者のご協力により、年度目標の1,180社

を前倒しで達成できた旨の報告、更に、“経協塾”、“朝礼見学会”、“企業人が選ぶいばらき

の見学スポット”などの創立70周年記念事業と分野毎の主要事業の進捗状況の報告があり、承認された。

続いて副

会長、各支部長、各委員長より活動の状況、業界・会社の状況等が報告され、意見交換を行った。



#### 創立70周年記念事業

経協塾(3テーマ、2回シリーズ)を開催

当協会では、創立70周年記念事業として、11月~12月にかけて“経協塾”を開催した。

今回の企画は、[働き方改革][IoT&AI][人材育成]の3テーマで、関心の高い参加者が少人

数の情報交換を行い理解を深めるべく、それぞれの分野で造詣が深い3氏をアドバイザーに迎え、2回シリーズで開催された。

初回は、参加者から自己紹介を兼ねて、自社や自己の課題を発言、アドバイザーのアドバイスや参加企業の取組みを紹介、2回目は、関心が高い課題についてアドバイザーから短い講演をいただきながら理解を深める形

で進行した。

参加者アンケートでは、期待以上の内容、期待通りの内容で満足という回答が殆どで、「アドバイザーの方から様々な観点で最新の情報をふまえたコメントを頂けた。各業界の方から、IoTに関する取組み状況、課題など生の声をきくことができた」「丁度良い参加人数の為話しがしやすかった」「もっと堅い話になるかと思ったら、具体的に楽しかった」といった意見が寄せられた。



#### 環境研究会

平成29年度 環境研究会例会を開催

環境研究会(代表幹事 鈴木良治氏(㈱日立製作所日立事業所電力環境管理センタ主任技師))は12月11日(月)当協会会議室において、例会を開催した。

例会では、環境経営を推進するうえでの課題や悩みを共有し

あう情報交換会を開催し、今回は「省エネの対策と情報」「環境経営~環境分野において、新しく取組みだし



た事例～「防災対策」について  
各社より発表があり、CO<sub>2</sub>削減  
事例や廃棄物の適正処理方法、

表彰制度の受賞内容などについ  
て意見を交わした。  
情報交換会終了後には、研究

会メンバー間の懇親会が開催さ  
れ、懇親を深め散会した。

## 経営教育委員会

第16期マネジメントマスターコースを開催



昨年の28名  
受講から大幅増  
の79名の参加  
を得ての開催と  
なった。参加者  
からのアンケート  
では「今回4  
回全講受講させ

て頂き、これまで感覚的に理解  
していたつもりだった各分野の  
理論と成り立ちや仕組みがクリ  
アになり、大変勉強になる良い  
機会となった」といった感想が  
寄せられていた。

経営教育委員会(委員長 植木  
誠氏(株)筑波銀行代表取締役会  
長)は、9月27日(水)を皮切りに、  
第16期を迎えたマネジメント  
マスターコース(4回シリーズ)  
を開催。

本年は「取締役・役員の役割、  
責任、必要事項をテーマ毎にシ  
リーズで学ぶ」をメインテーマ  
として4名の講師にそれぞれご  
指導頂いた。各テーマ&講師の  
詳細は右記参照。

### (第1講・9月27日(水))

テーマ：取締役・役員の立場、求められること～変革者としての期待～  
講師：葛田 一雄氏(株)ケーツーマネジメント代表)

### (第2講・10月31日(火))

テーマ：知っておくべき取締役・役員の職責～法的側面から～  
講師：山形 学氏(関・山形法律事務所所属弁護士)

### (第3講・11月29日(水))

テーマ：簡単にわかる！決算書の見方・読み方  
講師：横山 悟一氏(財務リスク研究所(株)代表取締役)

### (第4講・12月14日(木))

テーマ：役員に求められる人間力を磨く～松下幸之助  
講師：金子 一也氏(公益財団法人松下政経塾研修局長兼政経研究所長)

## 茨城産業会議

茨城大学農学部研究室訪問交流会を開催

茨城産業会議(鬼澤邦夫議長：  
経営者協会が事務局)は、大学  
との産学連携事業である「茨城  
大学農学部研究室訪問交流会」  
を12月1日(金)に開催した。

この研究室訪問交流会は、平  
成13年に茨城産業会議と茨城  
大学が産学連携協定を結んだこ  
とをきっかけに始まり、農学部  
訪問は今年で11回目となる。  
本交流会は、農学部における日  
頃の研究情報を共有し、産業界  
と大学との連携強化を図ること  
で、県内産業の活性化に資する

目的で隔年開催  
している。

当日は、企業・  
行政側から45名  
が参加。研究発  
表会、交流懇談  
会のあと、各参  
加者は7つの研



究室のなかから希望する研究室  
を訪問した。参加者からは、「先  
進的な研究情報に触れることが  
できた。」「実際の企業と大学の  
共同研究事例についての発表が  
あり、大変参考になった。」と

の声寄せられた。また、研究  
成果だけでなく、就職・インタ  
ーンシップ状況についての報告  
や学部生と企業担当者との交流  
の機会が設けられ、親交を図る  
ことができた。

水戸地区支部

平成29年度第2回役員幹事会を開催

水戸地区支部（支部長 西村寛氏 ㈱水戸京成百貨店代表取締役会長）は、12月15日(金)当協会会議室において、平成29年度第2回役員幹事会（幹事長 栗島国夫氏 ㈱ニコン水戸製作所長）を開催した。

はじめに、西村支部長が挨拶をし、その後、本年度の支部活動経過報告ならびに、今後の支部活動計画（案）について協議検討をした。

支部活動経過報告では、前回

役員幹事会以降に開催された3つの事業における実施概要や課題等に関する報告がなされた。続いて、今後実施予定の「支部セミナー」「行政懇談会」などの内容について協議し、開催時期が近いことから支部セミナーと行政懇談会を同日日に開催することを確認した。

役員幹事会終

了後には忘年会を兼ねた懇親会を行い、各社の近況報告等をするなど交流を深め散会した。



古河・坂東地区支部、県西地区支部 共催見学会

公益財団法人松下政経塾を見学

古河・坂東地区支部（支部長 阪好弘氏 京三電機㈱代表取締役社長）、県西地区支部（支部長 鈴木浩之氏 日立化成㈱下館事業所長）は、11月29日(水)支部合同見学会を開催、計21名が参加した。

本見学会は例年、自社の経営に活かせるヒントを得ることや、参加者同士の交流・繋がりを広げる機会として実施している。

今回の見学会では、実業家として成功を収めた松下幸之助氏

が、晩年に次代の国家指導者を育成するべく私費70億円を投じて神奈川県茅ヶ崎市に設立した公益財団法人松下政経塾に見学のご協力を頂き、開催した。

当日は、同塾の概要説明、施設見学、90分間の金子一也研修局長の講話を行った。

金子局長の講話では、「生前、松下幸之助氏いわく、『社長の仕事で一番大切な事は、「経営理念」を創ること。とりわけ「設立趣意書」「社是」「社訓」「五誓」の4つを創ること。そして、そ

れを従業員に衆知すること。』と何度も仰っておられました。また、同氏が晩年に設立した当塾は、日本の政治にも「国家理念」が必要との強い意思があった。」などのお話を頂いた。

当日ご参加頂いた方々からは、「個人では見学することが出来ない様な視察会であり、一経営者として、一度は訪れたかった。期待通りの見学会だった。」などの感想を頂いた。



## 土浦・石岡・つくば地区支部

採用力強化研修を開催～最新の採用トレンドを学びながら、採用担当者間の人脈形成も図る～

土浦・石岡・つくば地区支部（支部長 田淵道文氏 日立建機㈱執行役専務開発・生産統括本部長）の人事労務研究会（代表世話人 塚崎俊一氏 関東情報サービス㈱代表取締役）は全3回シリーズで「採用力強化研修」を開催した。

本研修の目的は、各社の採用力の強化と採用担当者間の人脈形成。採用力強化の面では、採用支援のトップランナーのひとりである株式会社キーカンパニー代表取締役の下菌博康氏に、最新の人材採用の潮流について解説を頂いた。一方、人脈



形成については、全3回の研修プログラムの中において、グループワーク、フリーディスカッションの時間を設け、採用活動における悩みや課題を共有し、解決策を模索し合う中で「仲間意識」を醸成した。

参加者からは、採用力強化の面では「今まで何となくこれで良いのでは、と思っていたことが、理論的背景を学ぶことで、より鮮明に『なぜこの手法を用いるべきなのか』が明らかになり、自信を持って採用活動に臨めそうです。一方で、就職活動のトレンドとして、学生が検索、閲覧する就職情報のソースが多様化しており、一つのルートのみで依存した母集団形成では、接触できない人材が多くなってきていること



を学ぶことが出来ました。これから次年度の採用戦略の見直しを行いたいと思います」との感想が寄せられた。

人脈形成の面では、「採用という共通点、共通業務の方々とグループワークの時間が多く設定されていたため、社内ではなかなか相談できない悩みを話すことが出来ました。研修が終わっても継続して情報交換、交流を深めていきたいと思います」との声が聞かれた。

本研修の成果を踏まえて、今後も採用力強化と人脈形成に資する研修を企画していく予定。

## 古河・坂東地区支部

平成29年度第2回役員幹事会を開催

古河・坂東地区支部（支部長 阪好弘氏 京三電機㈱代表取締役）は、12月7日(木)ホテル山水において、平成29年度第2回役員幹事会（幹事長 小林太志氏 三桜工業㈱総務部長）を開催した。



澤畑専務理事が開会挨拶をし、その後、本年度支部活動ならびに会員増強運動の進捗状況について報告・協議・検討がなされた。

本年度内の支部活動では、①労働法セミナー、②会員交流会（ゴルフコンペ）を下記の日時にて実施することを確認した。

各スケジュールは、下記の通り。

### ①労働法セミナー

平成30年2月27日(火)

### 開催予定

内容：労働契約法改正による無期労働契約への転換

講師：萩原総合法律事務所

代表 萩原慎二弁護士

会場：ホテル山水(古河市中央)

参加費：4,000円/1人

### ②会員交流会（ゴルフコンペ）

平成30年3月17日(土)

会場：ひととのやカントリー倶楽部(栃木県小山市神鳥谷)

①、②のお問い合わせは、事務局・平澤までお願い致します。

## 古河・坂東地区支部

平成29年度古河・坂東地区支部 支部総会を開催

古河・坂東地区支部（支部長 阪好弘氏 京三電機(株)代表取締役社長）は、11月27日(月)ザ・カナルハウス(古河市)において、平成29年度の支部総会を開催した。当日は38名が出席した。

司会進行は、小林幹事長、開会挨拶では北島副支部長から挨拶

がなされた。その後、澤畑専務理事より29年度協会重点活動の説明、創立70周年記念事業、事務局より29年度支部活動等を説明報告し、承認された。

総会終了後には特別講演会として、コラムニストの橋本テツヤ氏を招聘し、「経営者のため

の会話術～もう一度聞きたくなる魅力的な話し方～」と題し講演を頂いた。講演会終了後には、交流パーティも併設し、会員企業同士の情報交換や名刺交換など懇親を深め散会した。

## 鹿行地区支部

中国木材(株)鹿島工場様、神之池バイオエネルギー(株)様、昭和産業(株)鹿島工場様の見学会を実施

鹿行地区支部（支部長 太田晃三氏 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所副所長）主催による企業見学会が12月13日(水)に開催され、中国木材(株)鹿島工場様、神之池バイオエネルギー(株)様、昭和産業(株)鹿島工場様の3社を訪問し、23名が参加した。

始めに訪れた中国木材(株)鹿島工場様では、保田雅信管理課長より会社概要をご説明頂いた後に同社工場を見学した。保田管理課長から「当社は“物流コストの削減”に注力している。鹿島港に倉庫、加工工場を設置することによりコストの無駄を省

く。主に北米から輸入する米松は、様々な加工を施し、東日本を中心に供給している」との説明があった。

続いて、同社と三菱商事(株)共同出資にて設立された神之池バイオエネルギー(株)様を保田管理課長の説明の下に見学した。保田管理課長から「鹿島工場に出る木材樹皮、生オガ・乾燥オガを燃料に、バイオマス発電を行っている」との説明があった。

続いて、昭和産業(株)鹿島工場様では、山本朗管理課長より会社概要をご説明頂いた。「鹿

島工場は、年間の穀物取扱量は190万トンにのぼる昭和産業随一の生産拠点である。製粉、製油、糖質の生産を同一拠点で行う世界的にも珍しい工場であり、穀物の取扱量は国内でも最大規模である」となどの説明があった。

参加者からは、「異業種の工場には、なかなか伺う機会も少なく、非常に貴重な機会となった」、「両社ともに業界のトップランナーであることから、学ぶべきポイントがいくつもあった」などの感想が寄せられた。

## 各地でチャリティゴルフが開かれる

各地で会員間の懇親・興隆を促進する機会として、チャリティコンペが開催され、7月1日(土)には銚田市の白帆カントリークラブにて、9月9日(土)には常陸大宮市の水戸グリーンカントリークラブ、11月28日(火)には坂東市の大利根カントリークラブにて開催され、計68名が参加し企業間の交流を深めた。

全日程で集められたチャリティ益金の98,000円は、自殺防止活動に取り組んでいる“茨城いのちの電話”に寄付させて頂きました。ご協力頂きました皆様、誠にありがとうございました。



優勝した煙山弘氏（日立精錬(株)代表取締役）へ賞品を手渡す高橋副会長

# いばらきの理解を深める9支部めぐり (第10回)

県西地区支部

葛田 一雄

県西地区は、主に筑波山西方の平坦な地形が占め、南部を利根川、中央は鬼怒川が貫く。自然の豊かな地域であり、近郊農業が盛んであるものの工業団地を中心として工業が発達してきた。以下、地域の先達者および地域の特色ある企業を紹介したい。

## 1. 地域の先達

先達と所縁のある地をいくつか挙げたい。俳人として名高い与謝蕪村は結城市に関りがある。10年程、結城市に滞在した。弘経寺に居住して俳句や絵画を勤しんだ。同寺には、墨梅図、楼閣山水図等10幅の襖絵が残されている。筑西市は、陶芸家として初の文化勲章(1963年)受賞者である板谷波山の出身である。以下、出生地と先達である。常総市は、歌人であり小説家であり長塚節。市では長塚節文学賞を設けている。桜川市は、世界初の人工癌に挑んだ博士市川厚一。八千代町は、コレラ菌や腸チフス菌、各種ワクチンの研究や公衆衛生の指導に取り組み医学界に貢献した高野六郎。

## 2. 地域産業の基盤は五穀四木三草

茨城県と栃木県に限定したことはないが江戸時代以降地域産業の基盤は「五穀四木三草」である。五穀は、「いつつのたなつもの」とされた人間が常食とする米、麦、粟、豆、黍(あるいは稗)である。茶、桑、漆、楮を総称して四木(しばく、しもく)といい、重要植物として栽培されてきた。三草は、生活に有用な3種の草である麻、藍、木綿(あるいは紅花)である。

絹の生産には桑は欠かせないし、絹や木綿を染色する主要な顔料が藍や紅花である。紬糸または玉糸で織った平織の絹織物を紬織という。大島紬、白山紬そして結城紬が名高い。大島紬は鹿児島県奄美大島あるいは鹿児島市周辺が産地である。白山紬は石川県白峰村で織り出されていた。そして、結城市及び近郊の名産品結城紬である。

結城紬は、真綿からつむがれた細い糸で織った堅牢な織物である。結城市には明治40年創業の奥順株式会社がある。同社は、産地の機屋と連携し、結城紬の企画、デザイン及び販売流通を担う「製造問屋」として産地の発展に寄与してきた。同社の理念には産地の発展に寄与してきたという自負と責任が込められている。「日本古来の手作りの良さを持つ国の重要無形文化財指定の結城紬を、世界最高の絹織物として後世に伝承し、創る人々と着る人々の間に立ち、真の美を求め、そこに関わる全ての人の幸せを願い、誇りを持って歩んでいく企業である。」

## 3. 化成品は産業と生活の必需品

合成染料、有機顔料、有機ゴム薬品、医療中間体、農業中間体、有機写真薬品など化成品は産業の発展と豊かな生活に欠かせない。

県西地区支部の支部長企業が日立化成株式会社下館事業所(事業所長 鈴木浩之氏)である。同社は、1958年に日立製作所日立絶縁物工場下館分工場として設置、紙フェノールMCLの製造を開始した。1963年、日立製作所から分離独立し、日立化成工業下館工場(現下館事業所)として設置したものである。下館事業所は筑西市に所在するが、同市には先端技術研究開発センター(下館)および下館事業所(五所宮)が、結城市には下館事業所(南結城)が配置されている。

同社の行動規範、企業スローガン、宣言、コーポレート・ガバナンスおよび基本方針は以下が原文である。

### (1)行動規範

日立化成グループにおいて共通して適用される具体的な行動規範として、株式会社 日立製作所が作成した「日立グループ行動規範」に基づき「日立化成グループ行動規範」を制定し、経営トップのリーダーシップのもとこれを徹底し、これによって「基本と正道」に則った、企業倫理と法令遵守に根ざした事業活動の展開を行います。

### (2)企業スローガン

企業スローガン「Working On Wonders」は、日立化成グループ・ビジョンで定めている「未知の領域に踏み出すチャレンジ精神をもって、化学を超えた「新たな価値」を創造し、社会やお客様の期待を超える「驚き」を実現します」という姿勢を、短く象徴的な言葉でまとめたものです。



「Working On」には“取り組む”“研究する”、「Wonder」には“驚き”“驚くような素晴らしいこと”“不思議”などの意味があります。

「Working On Wonders」は、お客さま、株主・お取引先・地域社会の皆さまのために、革新的な技術や製品の開発を通して、驚きを創り続けるという私たち日立化成の宣言です。

### (3)コーポレート・ガバナンス

当社のコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は以下のとおりです。

当社は、機動力、客観性及び透明性の高い経営を実践するため、業務執行機能と監督機能とを分離した「指名委員会等設置会社」の機関形態を採用する。その特長を最大限に生かし、迅速・果断な意思決定が可能な業務執行体制を構築するとともに、取締役会の下に過半数の社外取締役により構成される指名・報酬・監査の3委員会を設置し、経営に対する適切な監督機能を発揮する。また、「日立化成コーポレートガバナンス・ガイドライン」を定め、株主をはじめとするあらゆるステークホルダーの利益に資する経営を実践する。

### (4)会社の支配に関する基本方針

当社は、「材料技術」「プロセス技術」「評価技術」を基に多様な市場の全てのバリューチェーンにおいてイノベーションを実現し、社会に新たな価値を提供することにより、適切な利益を獲得して事業の持続的成長を達成するとともに、ステークホルダーと協働することを通じ、企業価値の最大化を図ることを経営の基本方針としております。

こうした方針の下、当社は、株式の上場を通じて、資本市場から事業の維持及び拡大に必要な資金を調達するとともに、親会社の(株)日立製作所による合理的なガバナンス機能を十分発揮させつつ株主の視点に立ったコーポレート・ガバナンスを確保すると同時に、上場会社として、全てのステークホルダーとのコミュニケーションを深め、当社の強みを生かした自律性と緊張感のある経営を実践することが当社の企業価値向上に極めて重要であると考えています。

一方、当社は、日立グループの一員として、経営情報の交換、研究開発、製品の供給等の事業活動において、(株)日立製作所及びそのグループ会社との協力関係を維持、発展させ、日立グループのブランド力等の経営資源を有効活用することも、当社の企業価値向上に資するものと認識しています。当社としては、親会社のみならず、すべての株主にとっての企業価値の最大化を常に念頭に置き、日立グループ会社との関係においては事業運営及び取引の独立性を保つことを基本としつつ、経営計画の策定、ガバナンス体制の確立等に取り組んでいます。

## 4. セラミックスは産業基盤

常総・下妻地区(常総市・下妻市・結城郡八千代町)は、県西地域の南部に位置し、近郊農業の盛んな地域であるが、工業立地でもある。工業の中核企業の一つが下妻市所在の大塚セラミックス株式会社である。

化成品と同様にセラミックスは産業や生活に欠かせない。セラミックスとは陶磁器類、広義には窯業のことをいい、非金属無機材料を加工して得られるものの総称である。「セラミックスのことなら、大塚セラミックスにおまかせ下さい。」これは、同社の謳い文句である。

### (1)3つの訴求

同社は、3つのことを訴求する。

#### ①一貫生産

原料配合、成形、焼成、加工および検査までの工程を自社内で一貫して行っている。

#### ②時間の短縮

限界まで時間を短縮し、高品質の製品をより早く提供するための体制を整えている。

#### ③提案&開発

独自配合の材料を多数取扱い、更に、実績や知識を用いて目的、用途に適した材料を提案している。

### (2)3つの力

3つの訴求を支える力が3つある。

#### ①素材の研究開発力

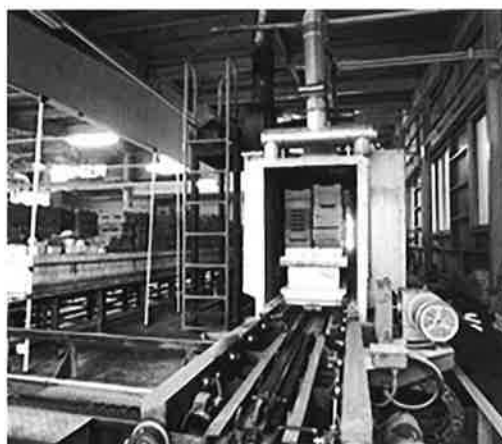
長年培ってきた経験と理論をベースに試行錯誤を重ね、常に新しい材質や技術の開発に力を注いでいる。

#### ②対応力

小ロット生産から量産まで幅広く対応する力がある。試作品製作や数量に関わりなく対応する。

#### ③現場力

全従業員参加の小集団活動を通じて改善効果を重ね、様々な要望に応えるように研鑽している。



## NPO情報

NPO information

Vol.207

# 2017年を振り返る

茨城NPOセンター・commons 代表理事 横田 能洋

茨城NPOセンター・commonsの2017年は新規事業へのチャレンジが続いた1年でした。一つ目は若者支援で、厚生労働省の若者サポートステーションを4月から運営してきました。自主事業であるグッジョブセンターも3年目を迎え、企業や生協と連携しジョブトレーナーが伴走する就労訓練が成果を上げています。(2月15日に成果報告会がありますのでご参加ください)

常総では1月に一般社団法人を設立し、外国籍の人も利用できる障害者就労支援事業A型と放課後児童デイサービスの始めました。障害者就労支援B型の施設はたくさんありますが、雇用契約を結ぶA型はあまりありません。売り上げから最低賃金以上の給与を支払うので仕事の開拓が重要になります。そこで常総の水害経験を踏まえたオリジナルの防災セットを販売したり、地域の便利屋として引越、片付け、芝刈りなどを受注して徐々に地域に溶け込

んでいます。空家の改修も仕事の一つです。言葉の壁で福祉サービスが利用できないでいた外国人世帯からの相談にも多く寄せられ、できる限り答えてきました。

秋からは多文化保育に関する事業も立ち上げました。市と連携して乳幼児のいる外国籍世帯の調査をしたところ160名もの乳幼児が在宅にいることがわかりました。市が公表している保育所の待機児童は数名ですが、実際には沢山の保育ニーズがあるのです。そこで毎週多文化子育てサロンを開き、保育所の申請の仕方など共に学んできました。私も含め4名のスタッフが子育て支援員の研修を受け年明けからは認可外保育の準備に入ります。

さらに、常総の災害からの復興のために空家を改修し、生活を豊かにするための拠点を作りました。10月にジュントス・常総復興まちづくり株式会社を設立しました。どうしても残したい空家があり、

その購入と改修に6千万円の資金が必要になったからです。空家をコミュニティ再生の拠点「えんがわハウス」にする企画は国の補助事業で選定(2000万円上限)されましたが4千万円の資金が必要です。会社で融資、出資を受け、NPOであるcommonsでは寄付と改修ボランティアを募ります。ご協力をお願いします。(えんがわハウスの詳細は[www.juntos-joso.org](http://www.juntos-joso.org)をご参照ください)

新たな事業を起こすのは大変ではありますが、年末のクリスマス会で水戸の若者の笑顔、常総の子どもたちの笑顔を見たり、やりがいをもって働いているスタッフの顔、えんがわハウスに期待を寄せてくれる地域の人の顔を見ると勇気が湧いてきます。2018年も若者や障害者、外国人の就労支援をしつつ地域の空家再生や防災活動に取り組んでいきます。引き続きよろしくをお願いします。



# 外国人観光客を誘客して茨城を元気に

日本貿易振興機構(ジェトロ) 茨城貿易情報センター 所長 西川壮太郎

茨城県に来訪する外国人観光客が増えている。観光庁によると、茨城県における外国人観光客の宿泊数がこの4年間で、88,490泊(2013年)から224,630泊(2016年)に増加している。訪日外国人が日本国内で消費した金額(2016年)は3兆円を突破しており、茨城県も地域活性化のために、外国人観光客にお金を落としてもらう仕組みづくりが大切だ。

## <農業観光で誘客を>

ジェトロ茨城は昨年、台湾からの観光客を増やすべく、まずは茨城県の魅力を体験していただくという3泊4日のツアーを実施した。ご招待したのは、台湾の旅行会社3社と有名ブロガー2人。茨城県に宿泊する旅行プランを作ってもらっただけであれば台湾の旅行会社のみでも十分であったが、台湾人の目で見えた茨城県の魅力を台湾の人々に伝えてもらうため、有名ブロガーも一緒に茨城県に来てもらった。

メロン狩り、ナシ狩り、クリ拾い、蕎麦打ちなど農業観光を十分に堪能してもらったが、茨城県滞在期間中に写真をバシャバシャ撮って、その場でFacebookなどに投稿し、大いに茨城県の魅力を台湾の人々に宣伝してくれた。

農業観光主軸のツアーにした理由は、今後の輸



梨狩りする台湾ブロガー

出を見定めているからだ。茨城県で果物狩りをし、その甘さに感動した外国人観光客が、母国に戻ってからも、茨城県産の果物を購入する固定客になってくれることを期待したい。

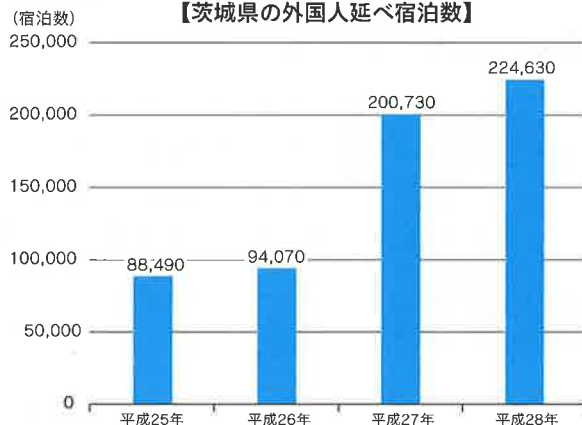
## <在住外国人は地域資源>

茨城県に来訪する外国人観光客が増えている、と言っても実は全国順位では31位。魅力度ランキングの47位よりかはマシとはいえ、まだまだ伸びしろの余地が大きい。そのためには外国人観光客にとって優しい茨城県になる必要がある。

その際に、もっとも力強い味方になってくれるのが、茨城県に既に在住している外国人達だ。日本人には気が付かない茨城県の魅力を彼らが発掘し、海外に発信してくれる場合もある。また逆に、すでに県民の一人として茨城県を知っているからこそ、見えてくる問題もたくさんあるはずで、彼らの意見を真摯に取り入れることが外国人観光客の増加につながる。

旅館の和式トイレを洋式トイレに改修する事、英語メニューをおいたレストランを増やす事、無料Wi-Fiが使える場所を増やす事など、いずれも地味な取り組みだが、茨城を元気にする一助になるに違いない。

増加する茨城県への外国人観光客  
【茨城県の外国人延べ宿泊数】



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

## 新入会員紹介

### 株式会社 茨城荷役運輸

■代表取締役 雨谷 一字



**Data** 所在地／東茨城郡茨城町長岡  
3474-1  
TEL／029-291-0009  
業種／一般貨物運送業  
従業員／20名

Appeal point

弊社は関東甲信越エリアから東日本全域を中心に「迅速・丁寧」をモットーに運送業務を行っており、主に運送業にかかわる人材派遣などのスタッフサービスから一般貨物運送等と多岐にわたる品目を常に「安全・安心」を心がけてサービスを行っております。

また、弊社では安全対策の一環として貨物保険に加入しており、お客様よりお預かりした荷物をより「安全・安心」にお届けできるように万が一の場合に備えた環境づくりおよび関係法令等遵守、コンプライアンスの認識向上を実施しております。

今後とも、お客様のニーズに沿った小口輸送から大口輸送サービスを提案できるよう、皆様の手となり、足となり社会貢献に取り組んで参りたいと考えております。是非とも宜しくお願い致します。

### 株式会社 武勇

■専務取締役 保坂大二郎



**Data** 所在地／結城市結城144  
TEL／0296-33-3343  
業種／清酒製造業  
従業員／9名

Appeal point

江戸慶応年間、越後より結城の地にて創業。昭和までは、越後杜氏による酒づくりをしていたが、平成にはいり、地元の社員による三季醸造体制をとる。近年、和食の世界ユネスコ文化遺産登録にとともに、和酒である日本酒にも少しは海外での人気が出てきている。国内は、若者の減少、嗜好性飲料の多様化でやや苦戦している。麴の文化を広げていこうと独特の甘酒等、ノンアルコール飲料は人気が出てきている。小さな地酒蔵なので、造りに最大の力をおいて、オリジナルの味わいを追求中であります。新人ですのでよろしくおねがいします。

### 株式会社 グリーンテック 茨城営業所

■営業所所長 中村 浩介



**Data** 所在地／水戸市元吉田町1851  
TEL／029-297-3331  
FAX／029-297-3332  
業種／サービス業 自動車部品の検査・修正作業等の品質管理  
従業員／33名

Appeal point

1996年の創業以来、当社は「品質」に特化した事業で成長を続けてまいりました。

日本の品質は世界に認められているブランドですが、日本企業は現状に満足はせず、より高いレベルの品質を追求しています。

当社はその品質向上に最大限の貢献をさせていただくため、グリーンテック=品質というブランドを確立し、いずれは日本の品質の代名詞となっていけるような存在を目指していきたいと考えております。

## 株式会社 アプリシエイト

■代表取締役社長 和田 幸哉



**Date** 所在地／日立市大みか町  
1-24-10 2F  
TEL／0294-33-7551  
業 種／情報サービス業  
(ITサービス業)  
従業員／50名

Appeal point

弊社は平成23年に設立し、IT分野におけるソフト開発、ITサービスを展開しております。弊社の経営の特色は大家族主義とアメーバ経営です。社員との心のつながりを第一として利他の心で正しさを貫いてまいります。地域社会に愛される会社を目指します。

# セミナー・事業等のご案内

= 詳細は、事務局までお問合せください =

セミナー名	日 時	テーマ・内容	講 師	会 場
第16回 春季労使交渉・ 労使協議対策 講演会	1月26日(金) 14:00～16:00	2018年の春季労使交渉・労使協議 に対する経営側の基本的考え方 ～2018年版経労委報告、労使交 渉・労使協議の手引の解説～ ①2018年の経済動向を考える ②経団連・経営指針「2018年版 経営 労働政策特別委員会報告」の解説 ③経済・経営・労働法制の課題と対応 ④「2018年版春季労使交渉・労使 協議の手引き」のポイント	(一社)日本経済団体 連合会労働政策本部 上席主幹 新田秀司氏	県産業会館
5Sセミナー	1月29日(月) 13:30～17:00	Smile 5S で楽しく進める！やりた くなる5S ～スピーディーで確実に効果が出る ／しっかり定着する／どの現場にも マッチする柔軟性～ ①なぜ、「やりたくなる5S」か？ ②2S:安全で働きやすい職場を創る ③3S:止まらない設備に育てる ④4S:クリーンファクトリーの実現 ⑤5S:人生産性の向上とポカミス ゼロ	ロンド・アプリウェ アサービス 大谷みさお氏	ホテル クリスタル パレス
環境（廃棄物） セミナー	1月31日(水) 13:30～16:45	第1部 違反事例に学ぶ、最近の不 適正処理事案とその罰則規定につ いて 第2部 改正廃棄物処理法の内容と ポイント ～排出事業者責任と法 令順守～ ①廃棄物管理の最新情報 ②違反事例で学ぶ廃棄物処理法 ③最近の刑事罰・行政処分 ④改正廃棄物処理法の内容とポイント ⑤最近の産廃判例	第1部 BUN環境課題研修事 務所主宰 長岡文明氏  第2部 佐藤泉法律事務所 弁護士 佐藤 泉氏	県産業会館

セミナー名	日 時	テーマ・内容	講 師	会 場
第8回 マネジメント力 向上研修 (3回シリーズ の第1回)	1月31日(水) 10:00~17:00	管理者に必要な基本的要素を網羅する※MTP (Management Training Program) を学びます ①管理の基礎 ・管理の基本的な考え方 ・管理と人間行動 ・組織の運営 ・基準に基づく管理	(一社)日本産業訓練 協会主幹講師 府川亮一氏	ホテル レイクビュー 水戸
県西支部支部 総会講演会・ 交流会	2月5日(月) 15:00~18:15	いい会社をふやしまよう ~21世紀を生き抜く価値ある企業像~ 2008年鎌倉投信株式会社を創 業。社長として事業全体を統括す る。資本の倫理に翻弄される金融か ら脱却し、社会を本当に豊かにす るための金融のあり方を、実直に、誠 実に求め続ける。“まごころ”こそ が、社会に“いい会社”を増やしてい くという鎌倉氏の経営哲学から、人 を心から大切にす経営のヒントを 得ることができます。	鎌倉投信 代表取締役社長 鎌田恭幸氏	ダイヤモンド ホール
第8回 マネジメント力 向上研修 (3回シリーズ の第2回)	2月7日(水) 10:00~17:00	管理者に必要な基本的要素を網羅する※MTP (Management Training Program) を学びます ①変革の管理 ・問題解決の基本 ・仕事の改善の実践 ②管理のプロセス ・計画、指令、統制、調整	(一社)日本産業訓練 協会主幹講師 府川亮一氏	ホテル レイクビュー 水戸
第8回 マネジメント力 向上研修 (3回シリーズ の第3回)	2月21日(水) 10:00~17:00	管理者に必要な基本的要素を網羅する※MTP (Management Training Program) を学びます ①育成と啓発 ・育成の考え方、個人能力の育成 ②信頼関係の形成 ・態度と行動の啓発、人を巡る問 題への対処 ・コミュニケーションの確立 ③よい管理の実現 ・リーダーシップ、管理の展開	(一社)日本産業訓練 協会主幹講師 府川亮一氏	ホテル レイクビュー 水戸
第16期 ISO9001 内部監査員 養成研修会 ※2015年版です	2月22日(木)~ 23日(金) 両日とも 9:30~17:00	(1日目) ・ガイダンス、ISO規格の解説、 規格の理解度チェック、内部監 査とその技法について、不適合 判定力チェック、宿題(チェッ クリストの作成について) (2日目) ・ロールプレーイング(監査の模 擬訓練:チームミーティング、 チェックリストの作成、オープ ニングミーティング、証拠の収 集、クロージングミーティン グ、講評) ・修了テスト(理解度チェッ ク)、総評、修了証書授与	元(株)ニコン 高橋 清氏	県産業会館

【お問合せ先】 一般社団法人 茨城県経営者協会  
〒310-0801 水戸市桜川2丁目2番35号 茨城県産業会館11階  
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109  
ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール [info@ikk.or.jp](mailto:info@ikk.or.jp)

# 労働者を募集する企業の皆様へ

～労働者の募集に関する制度が変わります～

＜職業安定法の改正＞施行日：2018（平成30）年1月1日

職業安定法や省令・指針の改正に伴い、労働者の募集を行う際の労働条件の明示等について、留意点をお知らせします。  
厚生労働省のホームページに、改正法に関する資料を随時掲載しています。

職業安定法 平成29年改正 検索

## 1 労働条件の明示が必要な時点（タイミング）

労働者の募集を行う場合（ハローワーク等へ求人申込みをする際や、ホームページ等）は、労働契約締結までの間、下記のような労働条件を明示することが必要です。

### 当初の明示

ハローワーク等への求人申込み、自社HPでの募集、求人広告の掲載等  
（指針：明示する労働条件は、虚偽又は誇大な内容としてはなりません。）

### 変更明示

面接の結果等で当初明示した労働条件を変更する場合は、可能な限り速やかに変更内容について明示しなければなりません。（職業安定法改正により新設されました。）

### 締結時明示

労働契約締結時、労働基準法第15条1項に基づき、労働条件通知書等により労働条件を通知（書面交付）することが必要です。（明示すべき事項については、厚生労働省ホームページに掲載の「モデル労働条件通知書」を参考にしてください。）

## 2 変更明示の方法等について

変更明示は、求職者が変更内容を適切に理解できるような方法で行う必要があります。以下の①の方法が望ましいですが、②の方法などにより適切に明示することも可能です。

- ① 労働条件通知書において、変更された事項に下線を引いたり着色したりする方法や、脚注を付ける方法。
- ② 「当初の明示」と変更された後の内容を対照できる書面を交付する方法。

以下の①～④のような場合に、変更明示が必要となります。

- ① 「当初の明示」と異なる内容の労働条件を提示する場合  
例)当初:基本給30万円/月⇒基本給28万円/月
- ② 「当初の明示」の範囲内で特定された労働条件を提示する場合  
例)当初:基本給25万円～30万円/月⇒基本給28万円/月
- ③ 「当初の明示」で明示していた労働条件を削除する場合  
例)当初:基本給25万円/月、営業手当3万円/月⇒基本給25万円/月
- ④ 「当初の明示」で明示していなかった労働条件を新たに提示する場合  
例)当初:基本給25万円/月⇒基本給25万円/月、営業手当3万円/月

変更明示に当たっては、その他にも以下のような点に留意が必要です。

### 職業安定法に基づく指針等の主な内容

- 労働者が変更内容を認識した上で、労働契約を締結するかどうか考える時間が確保されるよう、労働条件等が確定した後、可能な限り速やかに変更明示をしなければなりません。
- 変更明示を受けた求職者から、変更した理由について質問をされた場合には、適切に説明を行うことが必要です。



心を込めて、信頼できるカーライフ  
茨城トヨタ

# Sienta

シエータ



## 茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851  
TEL 0120-090110  
<https://www.ibaraki-toyota.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



**おいしい**

旬の食材や行事ごとのメニューなどを提案しています。  
皆さまの豊かな食生活を応援します。

**いこい**

買い物の後にちっと休憩。  
コミュニティが活発です。

# 出 会 い

人に出会う、食に出会う、いろいろな出会いが待っています。

**たのしい**

みんなで楽しめる  
体験・交流イベントも開催します。

**ふれあい**

カスミスタッフと地域の皆さまとの  
交流が広がります。

# いらっしやいませ

カスミは買い物をするだけでなく、出会いやふれあい、発見があります。  
地域のコミュニティの拠点として皆さまのご来店をお待ちしております。

株式会社 カスミ

〒305-8510 茨城県つくば市西大塚599-1 TEL.029-850-1860  
<https://www.kasumi.co.jp/>

# KASUMI

カスミ公式フェイスブックページ  
<http://www.facebook.com/kasumi.fanpage>



**HITACHI**  
Inspire the Next

## 次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

時代はいま、新しい息吹を求めて、大きく動きはじめています。

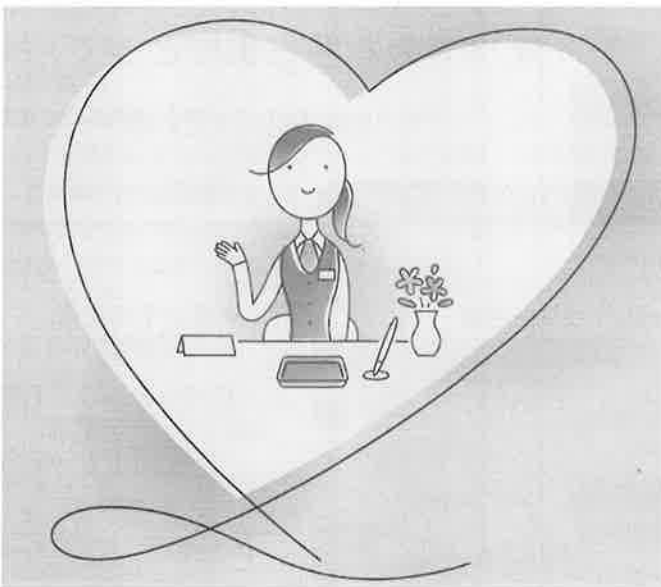
今日を生きる人々がいつも元気でいられるように、明日を生きる人々がいつもいきいきとしていられるように。

日立グループは、人に、社会に、次の時代に新しい風を吹き込み、豊かな暮らしとよりよい社会の実現をめざします。

日立の樹オンライン [www.hitachinoki.net](http://www.hitachinoki.net)

株式会社 日立製作所 日立金属株式会社 日立化成株式会社 日立建機株式会社  
株式会社 日立ハイテクノロジーズ 日立アプライアンス株式会社 日立オートモティブシステムズ株式会社

## 人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたにも  
ご利用しやすい銀行を  
めざしています。

 **常陽銀行**

**MEBUKI**  
めぶきフィナンシャルグループ

## 当協会年会費「口座振替」開始の 御案内

当協会では、会員様の利便性向上ならび事務負担軽減の観点より年会費の口座振替を「平成30年下期会費(平成30年10月)」より開始することとなりました。

お手続きの方法のお申込みにつきましては、「平成30年3月頃」に会員様にご連絡をさせていただきますので、お手続きのご協力をお願い致します。

## 年会費口座振替の お申込みから開始までの流れ

### ステップ1 (平成30年3月頃)

当協会より「年会費の口座振替の申込書」「預金口座振替依頼書」「返信用封筒」の3点を郵送いたします。

### ステップ2 (平成30年4月～6月)

郵送させていただきました「年会費の口座振替の申込書」および「預金口座振替依頼書」に、必要事項をご記入のうえ、返信用封筒でご送付ください。

※平成30年10月からの口座振替を希望の場合は、平成30年6月迄にお申込みください。

### ステップ3 (平成30年10月)

当協会にて手続きを行い、年会費の口座振替を致します。

## 口座振替をすると、 下記のように便利になります

1. 銀行に行く手間や都度の振込手続きが不要です!!
2. 振込手数料の負担がなくなります!!
3. 通帳にて引落とし内容をご確認いただけます!!

## お問合せ

一般社団法人茨城県経営者協会 事務局 澤畑(英)、石川  
TEL:029-221-5301 FAX:029-224-1109  
E-mail:info@ikk.or.jp